



全国規模では初の集會 「地産地消全国の集い」いわて大会

農林水産物の生産、消費の在り方について考える「地産地消全国の集い」いわて大会が10月11日、北東北三県と北海道などの主催で盛岡市で開かれた。開会式で増田知事は「食の安全だけでなく、食文化や食生活の在り方、ライフスタイルそのものが問われる現代、一次産業に携わる者が地産地消の運動を確固としたものにしなければならない」と訴えた。大会には40都道府県から約1,400人が参加、本県の「食の匠」による伝統の味や技を楽しみながら交流を深めた。



最大出力2,700キロワット 柏台発電所が完成

県営の水力発電所としては13番目となる柏台発電所（松尾村）が完成し、10月11日、現地で竣工式が行われた。式には県や村関係者ら約90人が出席、増田知事が起動スイッチを押し、くす玉を割って完成を祝った。同発電所は松川と北ノ又川から取水、水管橋などを経て発電所に導水し、有効落差42.3メートルを利用して発電、最大出力は2,700キロワットで、年間約3,800世帯分の電力を供給する。また、建物外観を山小屋風にデザインし、自然景観との調和を図っている。



日中韓の交流を促進 「世界の結びづくりフェスタ」開催

今年の日中韓国民交流年にちなみ、県などが主催の「世界の結びづくりフェスタ」が10月18日から3日間、盛岡市で開催された。初日は「いわて発 世界の結びづくり日中韓フォーラム」が開かれ、増田知事と中韓両国の在日公使が今後の国際交流について意見を交換した。知事は11月19日に韓国に開所の北東北三県・北海道ソウル事務所を紹介。中国に対しては「どこかに拠点をつくり、岩手がどんな所かを知らせる機会を多くしたい」と交流の促進に意欲を示した。



水害対策・治水対策を徹底 東山町で県政懇談会

県政懇談会「ふれあいトーク」が10月16日、東山町で開かれ、東山町商工会青年部の11人が増田知事と懇談した。参加者の多くから7月の台風6号の体験が述べられ、水害対策についての意見が寄せられた。知事は「今まで以上に水害対策・治水対策を徹底します」と答えた。